

お知らせ

記者発表資料  
配布日時

令和元年9月11日 14:00

■同時発表先：

鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、合同庁舎記者クラブ、山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

## 国が管理する河川では 200m 毎の洪水時の危険度が把握可能に！！

～「水害リスクライン」の運用を開始し、より身近な箇所の危険度・切迫性をわかりやすく提供～

- 従来、洪水の危険度は、限られた水位観測所でしか把握することができませんでした。
- 「水害リスクライン」では、概ね200m毎の水位の計算結果と堤防高との比較により、左右岸別に上流から下流まで連続的に洪水の危険度を確認することができます。
- 令和元年9月11日より一般向けの提供サイトの運用を開始するとともに、既に自治体等に提供を開始している高梁川を含め、対象水系を管内の全13水系に拡大します。
- 洪水時にはスマートフォン等から、洪水の危険度を確認し、避難判断にご活用下さい。

『水害リスクライン』

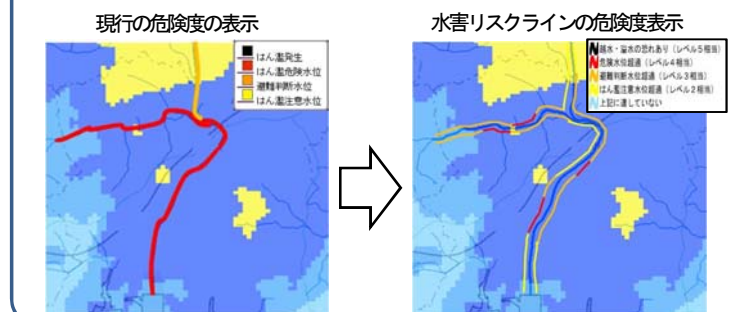
URL: <https://frl.river.go.jp/>



(参考) 対象水系：13水系

千代川、天神川、日野川、斐伊川、  
江の川、高津川、吉井川、旭川、  
高梁川（令和元年6月19日より提供）、  
芦田川、太田川、小瀬川、佐波川

○イメージ図



### ■■■ 報道機関の皆様を対象とした説明会 ■■■

国土交通省では、今回公表の「水害リスクライン」の他、避難に役立つ様々な情報を提供しています。これらの周知について、報道機関の皆様にご協力いただきたく、以下のとおり説明会を開催します。

※災害対策体制をとった場合は中止とさせていただきます。

○開催日時 令和元年9月17日（火） 10:00～10:30

○開催場所 広島合同庁舎2号館8階 災害対策室

○説明内容 水害リスクラインの利活用方法及びその他の河川の防災情報の入手方法

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局

☎ (082) - 221-9231 (代表) (平日昼間)

河川部 水災害予報センター長 伊藤 健 (内線 3851)

河川部 水災害対策専門官 丸下 淳 (内線 3852)

【広報担当窓口】

国土交通省 中国地方整備局

広報広聴対策官 岩下 恭久 (内線 2117)

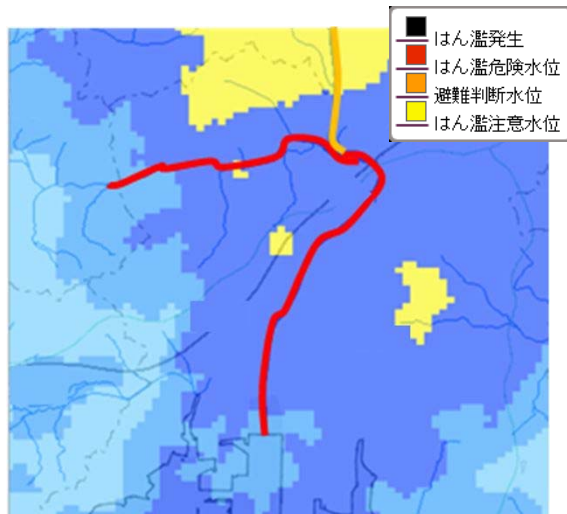
企画部 環境調整官 坂本 泰正 (内線 3114)

# 水害リスクラインによる水位情報を発信

- 概ね200m毎に計算した水位と、堤防の高さとの比較した危険度を表示する「水害リスクライン」により、災害の切迫感をわかりやすく伝える取組を推進。
- 平成30年7月豪雨で甚大な被害を受けた高梁川水系については、先行して令和元年6月19日より水害リスクラインの運用を開始し、自治体等に対して情報提供を開始。
- 令和元年9月11日より、一般向けの提供サイトの運用を開始するとともに、対象水系を管内の全13水系に拡大。  
(対象水系:千代川、天神川、日野川、斐伊川、江の川、高津川、吉井川、旭川、高梁川、芦田川、太田川、小瀬川、佐波川)

## 現行の危険度の表示

水位観測所の水位で代表して、一連区間の危険度を表示



「川の防災情報」の表示例

## 水害リスクラインを活用した危険度の表示

左右岸別、上下流連続的に地先ごとの危険度を表示



○今までは河川ごとに危険度の表示がされていたが、今後は各河川左右岸別・より細かい区分で危険度を表示

# 【参考】河川の防災情報の入手方法について

- これまで、情報発信者がそれぞれ提供していた情報を一目で確認できるよう、ポータルサイトにおいて、「気象情報」、「水害・土砂災害情報」等を一元的に集約して提供しています。
- また、多様化する情報発信ツールを活用し、情報発信の強化にも取り組んでいます。
- 9/17の説明会では、水害リスクラインの他、これらの防災情報の入手方法についてご紹介します。

## 防災情報の一元化 ～水害・土砂災害情報統合ポータルサイト～

①インターネットで「川の防災情報」を検索してください。



もしくは、右のQRコードを読み取り、インターネットに接続して下さい。



②専用サイト「川の防災情報」にアクセスし、「中国」をクリックしてください。



※「気象情報・注意報」「洪水警報の危険度分布」は「国土交通省 川の防災情報」ポータルサイトにリンクしています。  
 ※「川の水位情報」は危機管理型水位計運用協議会が運用するホームページにリンクしています。  
 ※掲載の情報には、無人観測所から送られてくるデータを観測画面に表示しているものが含まれており、機器故障等による異常値がそのまま表示されている可能性があります。  
 他の水位情報、気象情報も併せて確認してください。

## 情報発信強化の取り組み

■YouTube等を活用した河川カメラライブ配信  
 (リアリティーのある災害情報の発信)



■Twitter等のSNSを活用した情報発信



中海の水位が氾濫危険水位に達し、なお上昇傾向です。市町村が発表する避難情報に注意して下さい。次は朝9時頃に情報更新する予定です。#出雲河川事務所 #中海



8月28日10時20分に洪水警戒体制を発令しました。土師ダムは秋雨前線による洪水のため、ダムへの流入量が50m3/sを超えさらに流入量が増大する恐れがあることから、洪水警戒体制を発令しました。今後、ダムからの放流量が徐々に増えていく予定です。川の中にいる人は注意して下さい。